



集落支援だより

朝晩と昼の寒暖差が激しく、油断をすると体調を崩しやすくなる季節になっておりますが、皆さん、元気にお過ごしでしょうか？

地域おこし協力隊 集落支援担当の小松慎吾と申します。

人足やボランティア、体験イベント、大学生の研修事業の運営や相手先とのやり取り、また、奥川地域づくり協議会で、組織運営・管理・会計などを担当しております（集落支援なのかな？）



地域おこし協力隊 集落支援担当

こまつ しんご
小松 慎吾 隊員

水路を守れ！ 夏の草刈り人足実施！

7月27日、奥川の各集落にて行われた草刈り人足。今年も福島大学の学生をはじめ、さまざまな人が集まり、お手伝いいただきました。

過酷な暑さと、ハチやアブとの戦い、重いフォークを持つて道なき道を進んでいく作業にヘトヘトになりながらも、集落の皆さんから「本当に助かった！ありがとうございます！」との声をもらい、参加した学生たちからは「ちよつとでも貢献できて良かった！」との感想をいただきました。

次回は稲刈り体験を予定しています。



▲結に宿泊する学生たち

盆踊りにやってきた武蔵野大学の若者たち！

8月14日、奥川で行われた盆踊り。去年同様、今年も武蔵野大学フィールドスタディーズの生徒たち総勢20人（！）が、お手伝いにやってまいりました。

奥川に住む地域の皆さんの独特な訛と早口に即順応し、会場設営から出店の売り子まで幅広く活躍。最後はみんな

で盆踊りにも参加し、地域の皆さんに笑顔をもたらしくれました。

12日～15日までの滞在期間中は、限界集落の可能性をテーマにさまざまな取り組みを学習し「今度はプライベートで稲刈りや人足にも来たい！」との声もありました。

今後さまざまな大学と交流を深め、より一層、西会津の魅力をお伝えいたします！



▲武蔵野大学フィールドスタディーズの皆さん

伝統を次の世代に 大聖歡喜天祭礼開催！

8月18日、奥川の極入集落にて大聖歡喜天祭礼が行われ、スタッフとしてお手伝いに参加いたしました。

こちら福島大学の岩崎先生とゼミの生徒5人が訪れ、蕎麦や岩魚の塩焼きを楽しみました。この祭礼は、長い歴史がある祭礼です。一時期は祭りが中止となりましたが、平成28年になんと50年ぶりに復活。

我々若い世代が、この伝統を二度と絶やすことのないよう、今後取り組みに参加します！

